

平成 30 年 12 月 3 日

各 位

会 社 名 株式会社カイオム・バイオサイエンス
代表者名 代表取締役社長 小林 茂
(コード：4583 東証マザーズ)
問合せ先 取締役経営企画室長 美女平 在彦
(TEL. 03-6383-3746)

がん治療用候補抗体及び抗体改変技術の譲受に関する資産譲渡契約締結のお知らせ

当社は、本日、英国の Biotecnol Limited 社(以下、「BT 社」)が創製したがん治療用候補抗体 Tb535H 及び抗体改変技術 Tribody™を譲り受けることに関して、BT 社と資産譲渡契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 譲受の理由

当社は、独自の抗体作製技術をはじめとした創薬基盤技術を統合的に活用して医療のアンメットニーズに対する創薬開発事業を展開しておりますが、今後の成長に向けて、創薬パイプラインの拡充と抗体創薬の根幹となる技術ポートフォリオの強化を重点課題に掲げて、積極的に取り組んでおります。

当社が譲り受ける Tb535H は BT 社が独自の多重特異性抗体 Tribody™技術を活用し創製した非臨床段階のがん治療用候補抗体で、アンメットニーズの高い悪性中皮腫や肺がんなどの領域での開発が期待されます。また、Tribody™技術は、3つの異なる抗原結合部位を持つ抗体を創製する技術で、複数の抗原に結合することができる多重特異性や腫瘍細胞を攻撃する T 細胞誘導活性を有する抗体 (multispecific T-cell engager antibody) を創り出すことができます。この技術を当社が保有する抗体作製技術と組み合わせることにより当社の抗体創薬の可能性を広げるものと考えております。

BT 社は、当社が過去に実施した共同研究開発を通じて友好的な関係性を構築してきた企業であり、本契約締結によって同社の革新的な創薬プログラムと抗体創製技術を譲り受けることは、当社の長期的な企業価値向上に資するものと判断いたしました。

2. 契約の概要

本契約締結により譲り受ける資産の対象は、がん治療用抗体 Tb535H 及び抗体改変技術 Tribody™並びに関連する特許等の知的財産であり、当社は対価として 200 万ポンドを支払います。また、BT 社から譲り受けた資産を用いて当社が今後の導出や販売等により収益を獲得した場合には、その一部を同社へロイヤルティとして支払うことになっております。

3. 契約相手先の概要

| | | | |
|---------------------|---|-------------|--|
| (1) 名 称 | Biotecnol Limited | | |
| (2) 所 在 地 | One London Wall 6th Floor, London, EC2Y 5EB, United Kingdom | | |
| (3) 代表者の役職・氏名 | CEO, Pedro de Noronha Pissarra, Ph. D. | | |
| (4) 事 業 内 容 | discover and develop biological drug candidates for therapy | | |
| (5) 設 立 年 | 2013 年 9 月 18 日 | | |
| (6) 上場会社と当該会社との間の関係 | 資 本 関 係 | 該当事項はありません。 | |
| | 人 的 関 係 | 該当事項はありません。 | |

| | | |
|--|-------------|-------------|
| | 取 引 関 係 | 該当事項はありません。 |
| | 関連当事者への該当状況 | 該当事項はありません。 |

※BT 社は、未上場の企業であり「資本金」「純資産」「総資産」の額につきましては非公開情報となっているため記載しておりません。

4. 業績予想への影響

本件が平成 30 年 12 月期業績に与える影響は確定次第お知らせいたします。

以 上

● 参考情報

<Tb535H について>

Tb535H は3つの抗原結合部位のうち2つは多くの固形がんが発現がみられるタンパク質 5T4 に結合し、残りの1つが免疫細胞であるT細胞上のタンパク質 CD3 抗原を標的分子とする、BT 社の Tribody™技術を用いて創製されたがん治療用候補抗体です。Tb535H は患者が元来保有している免疫機構を司るT細胞の働きを促進することでがん細胞を攻撃します。想定される適応疾患としては、悪性中皮腫、小細胞肺がんや非小細胞肺がんなどのアンメットニーズが高い領域での開発が期待されます。

<Tribody™技術について>

Tribody™は分子工学的手法により作製した複数の抗原に対する特異性を持つ多重特異性抗体で、1つの分子の中に3つの異なる抗原結合部位があり、異なる機能を組み合わせることができます。例えば、結合部位の1つはT細胞やNK細胞のような抗腫瘍活性を有する免疫細胞(エフェクター細胞)をがん細胞へ誘導するように設計し、残りの2つの結合部位ががん特異的抗原の異なるエピトープに結合、または、同じがんで発現している異なる抗原を認識するように設計することが可能です。そのことにより安全性及び有効性の高い抗体医薬品の開発が期待されます。Tribody™技術にかかる商標として Trisoma®が登録されております。

<Biotecnol Limited について>

BT 社はロンドンに拠点を置くバイオテック企業で、多重特異性抗体 Tribody™を創製する独自のプラットフォームをベースに免疫活性化あるいは免疫調整機能を有するがん治療用抗体を開発しています。

<http://www.biotecnol.com/>

以 上